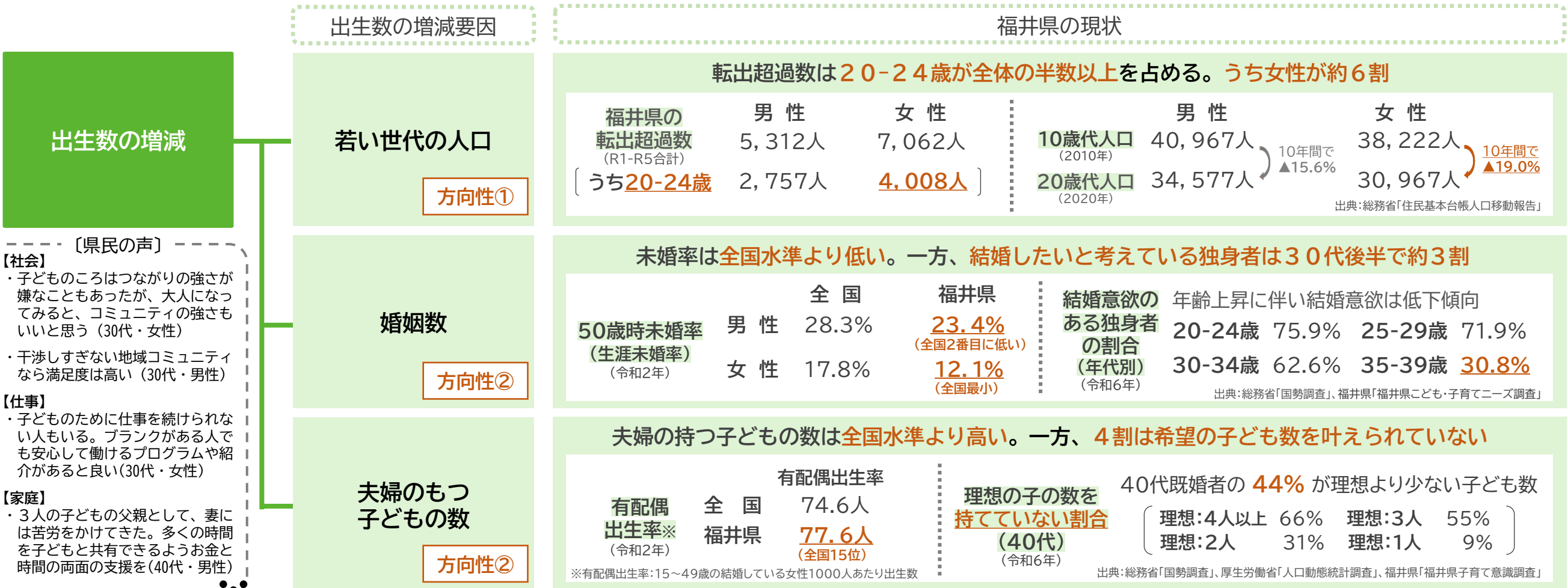


### ■ 次期戦略の期間 2025年度 ~ 2029年度

- **これまでの戦略の進捗**
  - ・合計特殊出生率は**1.46**に低下したが、**全国上位の出生率を維持**。令和4年に「ふく育県」を宣言し、子育て支援や結婚応援を強化  
[合計特殊出生率 2019年 1.56 (11位) → 2023年 1.46 (6位)]
  - ・コロナ禍により働き方や暮らし方が変化するなど、地方への関心が高まり、**社会減が改善**。一方、大学や企業が大都市に集中する社会構造が要因となり、**社会減が再び拡大傾向** [転出超過数 2019年 2,832人 → 2023年 2,607人]

### ■ 福井県の人口減少の特徴 [婚姻件数 2000年 4,582件 → 2023年 2,620件 (△42.8%)]

- ・若い世代（特に**女性**）の**県外転出**により**若者の人口が減少**。県内の**未婚率**は全国水準より**低いもの**の、**婚姻件数は減少傾向**。
- ・人口あたりの未婚者数の少なさ、夫婦あたりの出生数の多さは全国水準より高い一方、**結婚や出産の理想を叶えられていない人も一定数存在する**。



### ■ 今後の対策の方向性

**【方向性①】** 若い世代（特に**女性**）に**いかに県内定住を選んでもらうか**（県内進学・就職、U・Iターン促進等）

**【方向性②】** 県内定住を選んだ若い世代の**結婚・子育ての希望をいかに叶えるか**（働き方、結婚～子育て支援等）

### ■ これからの福井県に求められること（政策を検討する上で重視する観点）

- ・ **地域社会** … 多様性を楽しめる社会
- ・ **家庭** … 結婚・出産の希望がない、子育てを楽しめる社会
- ・ **働き方** … 生きがいと働きがい
- ・ **関わりしろ** … 皆とつながり続ける

## 地域社会

### 多様性を楽しめる社会

- ・ 家庭・職場・地域の各場面で、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）に気づき、考え、理解しあえる機会を作ること
- ・ 自分に対しても相手に対しても「こうあるべき」と気負わず、「違い」を楽しめる雰囲気を作ること

## 働き方

### 生きがいと働きがい

- ・ 希望する生き方や働き方が多様化する中で、理想のライフスタイルを実現できるような環境を整えること
- ・ 男性だから、女性だからと関係なく、ジェンダーレスに仕事をし、人生を楽しめる社会であること

## 家庭

### 結婚・出産の希望がかない、子育てを楽しめる社会

- ・ 結婚・出産の希望がかない、それぞれが思い描く家族像を実現できるよう、地域・社会が家庭を支える存在であること
- ・ 子育て中の家族が子育ての楽しさを実感し、若者が子育てに対しよりポジティブなイメージをもてる世の中であること

## 関わりしろ

### 皆とつながり続ける

- ・ 自身のアクションが未来を創る「地域との関わりしろ」をつくり、幼いころから地域への愛着を深めること
- ・ 県外に出た方が、様々なライフイベントのたびに、福井県に戻りたくなるよう、継続的につながっていること



暮らしの喜びや幸せを実感できる社会へ

- これまで実施してきた施策の成果などを踏まえつつ、さらなる意見交換を行いながら、次の方向性をもって施策を検討

新たな観点

現戦略から  
継続する観点  
(現戦略を再構成)

## 1. 若い世代に選ばれる「地域スタイル」の構築

- (主な取組みの例)
- ① 地域への愛着を育む教育
  - ② アンコンシャス・バイアスへの理解促進
  - ③ ウェルビーイングの向上
  - ④ 若者参加のまちづくり

## 2. 「働きがい+働きやすさ」の魅力ある仕事の創出

- ① 若い世代の経済自立・安定所得向上につながる経営改革支援
- ② 女性が望む雇用づくり・L字カーブの解消・男性育休の拡大
- ③ 時間や勤務地にとらわれない多様な働き方の促進

## 3. 結婚・出産・子育ての「希望が叶う社会」の実現

- ① 出会いの機会拡大・恋愛への後押し
- ② 結婚・子育てへのポジティブなイメージづくり
- ③ ふく育さん・ふく育タクシー・家事の外部化促進など地域での子育て支援

## 4. 「県内進学・就職」「U・Iターン」の徹底応援

- ① 学生時代からの継続的なつながりづくり
- ② 地元進学・地元就職の促進
- ③ 体験を通じたU・Iターンの促進